

そう偉そうなこと言っても、僕も書いて置かないと忘れることもある。

「今日、あの子に会った」と、書くのは、それだけだけど、今朝のあの子の姿は、僕の脳裏には、まだはっきり今は残っている。

その詳細を、きめ細かく、ここに、書かなくても、今の僕の脳裏には、強烈に、焼きついている。

しがし、やがて時が過ぎると、僕の記憶も薄れてくる。

本当にその姿を、今から十年先、二十年先、四十歳になっても、六十歳になっても、残っているだろうか。

今日の子の服装や表情を細かく、僕とて、いつまでも記憶して置けるはずがない。「人間、年を取ると忘れる。」という言葉が、冷酷にも、僕の頭の中で、こだました。

やはり、それを思うと、今、思うまま、感じるままを、出来るだけ細かに、書き記す必要性に僕はかられる。

少なくとも、今の僕の感じるところを、率直に、飾り気ない、下手な文字でも、記録して置きたい。

僕は被害者でもないのですぐ退去